防災マニュアル

東北大学会計大学院

このマニュアルは、学生の皆さんが大規模地震(震度 6 弱以上)や火災に適切に対応するため、日頃から注意してほしいことと災害時にとるべき行動についてまとめたものです。会計大学院の皆さんは、エクステンション教育研究棟(以後「エクステンション棟」と略)と会計大学院研究棟(以後「研究棟」と略)の2カ所で学習・研究を行っていますので、それぞれの場所に関係する注意も確認するようにして下さい。

I. 災害発生時における対応について

日頃の注意事項 (エクステンション棟・研究棟)

- 1. 避難経路や避難場所を確認する。
- 2. 消火器や消火栓・火災報知機の使用方法や設置場所を確認する。
- 3. 自習室内の通路や出入口付近に荷物を置かない。
- 4. 自習机本棚に重い荷物は置かない。
- 5. 災害発生時の大学への連絡方法を確認する。

<mark>2.緊急地震速報システム</mark>(エクステンション棟)

エクステンション棟には『緊急地震速報システム』が設置されており、震度4以上の地震が予測された場合は、アラーム音の後に男性の声で5秒刻みに地震動到達までのカウントダウンをした後、震度アナウンスを行います。

緊急地震速報が作動したら**【慌てずに、周囲の状況を確認し、まず身の安全を確保】**してください。現時点で、研究棟には『緊急地震速報システム』が設置されていません。

<mark>3.地震が発生したら</mark>(エクステンション棟・研究棟)

(緊急地震速報の作動と地震の発生)

- 1. 窓ガラス、ロッカー及びつり下がっている照明など、飛散・転倒・落下のおそれのある什器、備品から離れる。
- 2. 机やテーブルの下に隠れ、落下物・転倒物から特に頭部を守る。
- 3. ドア付近にいる人は、自分の身の安全を確保できる場合は、ドアを開けて避難経路を 確保する。
- 4. 近くに身を隠す場所がない場合は、蛍光灯などの落下物から頭を守るためにバッグや 衣類などで頭を覆う。
- 5. 慌てて建物の外に飛び出さない。
- 6. 吹き抜け部分にいる場合は、1 階天井のある部分に移動する。この場合、ガラス壁から離れる。

(揺れがおさまったら)

- 1. 電気器具のプラグをコンセントから抜く。
- 2. 負傷者がいたら複数で救護にあたり、必要に応じて応援を求める。
- 3. 避難場所へ避難する。この場合、エレベーターは利用しない。

(エクステンション棟のエレベーターに関して)

- 1. エレベーターの中にいる場合は、全ての階のボタンを押し、停止した階で降りる。閉じ込められたら、非常ボタンを押すか、備え付けの電話で外部に連絡を取り救助を待つ。
- 2. 避難する際エレベーターは利用しない。

4. 火災が発生したら (エクステンション棟・研究棟)

- 1. 大声で避難するよう周囲に知らせる。また、火災報知機を使用する。
- 2. 可能であれば消火器を使用し初期消火を行う。ただし、決して無理はしないこと。
- 3. 明らかに消火不可能な場合は避難し、119番通報する。

5. その他

(エクステンション棟)

- 防火扉が閉まった場合でも、扉の一部にくぐり戸が設けられており、手で押し開けて 避難することができます。
- 防火シャッターの場合は、一度閉じられると通行することは不可能ですが、近くにく ぐり戸が設けられおり、そこから避難することができます。
- 停電が発生した場合、手動でドアを開け外へ出て下さい。安全が確認されるまでエクステンション棟に入らないようにしてください。停電になっても手動でドアの開閉はできるので、慌てないで下さい。

(研究棟)

○ 停電が発生した場合、手動でドアを開け外へ出て下さい。安全が確認されるまで研究 棟に入らないようにしてください。停電になっても手動でドアの開閉はできるので、慌 てないで下さい。

(エクステンション棟・研究棟)

○ 夜間及び土日祝日は教職員が不在となりますので、北門警務員室 (022-217-4936) に 連絡をしてください。

II. 災害発生時の大学への連絡方法について

大規模な災害が発生した場合は、「**東北大学安否確認システム**」を通じて、安否やケガの 状況について連絡してください。何らかの事情で安否確認システムへの登録ができない場 合は、以下に連絡をしてください。

会計大学院 片平事務室

E-mail:eco-in@grp.tohoku.ac.jp 電話:022-217-6276

*以下の内容を報告してください。

① 学籍番号・氏名、② 怪我の有無(怪我なし、軽傷、重傷等)、③ 現在の居場所

Ⅲ. 災害発生時の避難場所について (エクステンション教育研究棟前の中庭)

エクステンション棟・研究棟を利用している際に大きな災害が発生した場合は、身の安全を確保し、エクステンション棟前の中庭まで避難してください。

IV. 災害時における大学からの連絡方法

災害時は経済学研究科・会計大学院の各ウェブサイトや、メーリングリストで各種の連絡を行いますので、確認するようにしてください。なお、エクステンション棟の前に緊急掲示板を設置することもありますので、これも確認して下さい。

経済学研究科 http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/index.html

教務係掲示板 https://www.econ.tohoku.ac.jp/bulletin

会計大学院 http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/index.html

会計大学院学内ページ http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/

V. 片平キャンパス最寄りの指定避難場所

- · 片平丁小学校(片平 1-7-1)
- ・東二番丁小学校(一番町 2-1-4)
- · 五橋中学校(五橋 2-2-1)

当事者又は発見者

(初期消火・応急処置に努める)

緊急の場合

通 報 時間外

(執務時間外)

消防署

119

警 察

110

片平事務室

22-217-6276

地域イノベーション研究センター事務室

22-217-6265

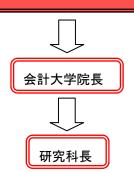
経済学研究科総務企画係 022-795-6268

警務員室

(北門)

2 022-217-4936





名称:東北大学会計大学院

住所: 〒980-8577 仙台市青葉区片平 2 丁目1-1

☎ 022-217-6276 (片平事務室)

☎ 022-217-4936 (時間外は北門警務員室)

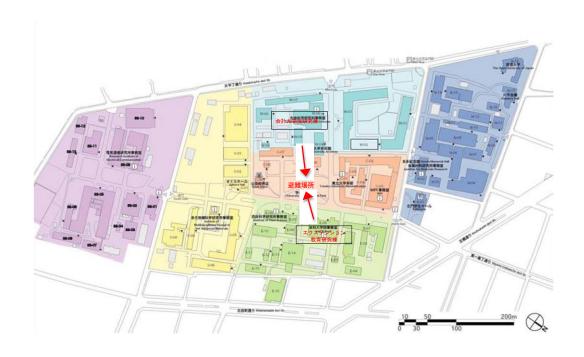
建物:エクステンション教育研究棟(鉄筋コンクリート・6 階建て)

会計大学院研究棟(鉄筋コンクリート・3 階建て)

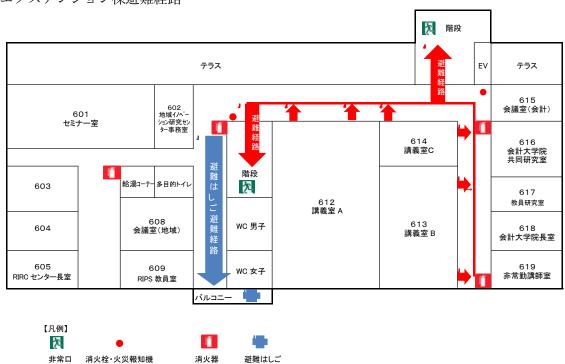
避難場所:エクステンション教育研究棟前中庭

火事·救急は 119 **番** 警察は 110 番

事故発生時の学生・教員の避難経路



エクステンション棟避難経路



研究棟避難経路

